

## 平成28年度 サンポートホール高松主催事業ご案内

- 2016 5 May** 5日(木・祝)14:00開演 第2小ホール  
 こどもの日のこどものためのコンサート  
**12日(木)19:00開演 大ホール**  
 オフ・ブロードウェイ・ミュージカル  
 「フォーエヴァー プラッド」
- 2016 8 Aug** 17日(水)～21日(日)第1リハーサル室  
 四国学院大学協働事業「演劇どっこむ」
- 2016 9 Sep** 19日(月・祝)13:00開演 大ホール  
 新国立劇場バレエ団  
 こどものためのバレエ劇場「白鳥の湖」  
**27日(火)**  
 【高校生鑑賞教室】ニッセイ名作シリーズ  
 オペラ「セビリアの理髪師」
- 2016 10 Oct** 2日(日)13:00開演／16:00開演  
 第2小ホール  
 瀬戸フィル ティータイムコンサート
- 2016 11 Nov** 5日(土)・6日(日)第1リハーサル室  
 中村恩恵と首藤康之による  
 クラシックバレエとコンテンポラリーダンスの  
 ワークショップ
- 2016 12 Dec** 11日(日)14:00開演 大ホール  
 親子のためのクラシックコンサート  
 音楽の絵本～プリランテ～
- 2017 2 Feb** 日時未定 第1小ホール  
 高校演劇フェスティバル
- 2017 3 Mar** 日時未定 第1小ホール  
 第6回サンポートホール高松  
 デビューリサイタル  
**28日(火)19:00開演 大ホール**  
 サンポート狂言会  
 (出演:野村万作、野村萬斎、ほか万作の会)

## ホール・ガイダンス

### 施設空き情報の確認

サンポートホール高松「施設予約管理システム」で、  
2年先までの空き情報がご覧いただけます

サンポート 空き情報

<http://www.reserve-sunport-hall.jp/bunyusr/usr>

- 利用日の1年前の月の  
初日から10日前まで、  
会議室、和室、リハーサル室、  
練習室の仮予約ができます。

### 携帯電話での アクセスはこちら



### 受付窓口からのお知らせ

平成27年4月1日から受付窓口の時間が  
変わりました。  
9:00～17:00→9:00～18:00

詳しくは財団ホームページ、またはお電話で。

<http://www.sunport-hall.jp/>

☎ 087-825-5000

## サンポートホール高松友の会 「さんぽーとCLUB」からのお知らせ

会員期間 1年間 年会費 1,000円

※会員の期間は、入会日から翌年同日の属する前月の末日までとします。会員資格を更新したときの会員期間は、更新前の会員期間満了日までの期間および、その更新の日の翌月初日から1年間とします。

### 特典

①②は、サンポートホール高松プレイガイドでのご購入に限ります

#### ①チケットに関する特典

- 財団が指定する公演について、一般発売に先行して予約・購入することができます。
- 財団が指定する公演について、財団が定める会員価格で購入することができます。
- ※会員価格で購入できるのは、会員お1人5枚までです。6枚目からは一般価格になります。

#### ②入会・更新時の特典

- 入会(再入会含む)・更新ごとに、チケット割引ポイント(500円分)を差し上げます。
- チケット割引ポイントは、財団が指定する公演チケットを購入するときに、利用できます。

#### ③その他の特典

- 財団が発行する催物案内・情報紙等を定期的にお届けします。
- 財団の主催事業で出演されたアーティストの記念品等を抽選でプレゼントします。
- その他、財団が企画する会員限定の特典サービス(近隣店舗等での優待割引など)が受けられます。

### 入会手続き

- ご来館によるお申し込み  
入会申込書にご記入の上、年会費を添えて、サンポートホール高松プレイガイドでお申し込みください。
- 郵送・FAXによるお申し込み  
入会申込書にご記入の上、郵送又はFAXで送付ののち、銀行振込でお支払いください。
- ホームページからのお申し込み  
必要事項を登録後、クレジットカードでお支払いください。

**振込先** 銀行名：百十四銀行 高松市役所支店  
 番 号：普通 0648982  
 口座名：公益財団法人高松市文化芸術財団

※入会申込書は、ホームページからもダウンロードできます。

### ◆お問い合わせ・お申し込み先

公益財団法人高松市文化芸術財団内  
 サンポートホール高松友の会「さんぽーとCLUB」事務局  
 〒760-0019 香川県高松市サンポート2番1号  
 TEL 087-825-5010 <http://www.sunport-hall.jp/>



サンポートホール通信  
[季刊 シャ・ラ・ラ]



# Sha la-la

<http://www.sunport-hall.jp/>

オフ・ブロードウェイ・ミュージカル「フォーエヴァー プラッド」

# Forever Plaid

川平慈英 長野博 松岡充 鈴木壮麻

- こどもの日のこどものためのコンサート
- 四国学院大学協働事業 演劇どっこむ  
「演劇どっこむ」的 演劇を楽しむ3STEP
- 通刊50号記念企画 Sha-la-la Library
- 平成28年度サンポートホール高松主催事業ご案内

# OFF BROADWAY MUSICAL Forever Plaid 2016

帰ってきたぜ!

日時: 2016年5月12日(木) 19:00開演(18:00開場)  
会場: 大ホール

チケット: 一般 S席 6,600円 A席 5,800円 B席 5,000円  
友の会 S席 6,100円 A席 5,400円 B席 4,700円  
※一般価格と友の会価格の差額は、主催者が負担しています。

全席  
指定

【作】 スチュワート・ロス

【演出】 板垣 恭一

【ナレーション】 ジョン・カピラ



1956年のアメリカ。フランシス、ジンクス、スパーク、スマッジの4人は、高校時代に出会い、アメリカンドリームを夢見て男性4人によるコーラススタイルのグループを結成する。恋をする暇も遊ぶ暇もなく、大スターになることを夢見て奮闘する彼らに、ビックショーに出演できるというチャンスが巡ってきた。

そんな彼らに思いもよらぬ悲劇が訪れる。1964年2月9日。彼らのトレードマークである“ブラッド=格子柄”をあしらった、お揃いのステージ衣装を取りに行く途中に、4人を乗せた車とカトリックのティーンエイジャーで満席のバスが激突。4人は全員即死してしまう…。皮肉にも、ティーンエイジャー達はビートルズの公演を観に行く途中だった。

4人の想いと様々な天空の条件が奇跡を起こし、実現できなかった自分達のライブステージを成功させるべく、再び4人が地上に舞い降りる。

## フランシス FRANCIS

グループのリーダー、まとめ役。ひと際音楽へ情熱を燃やして、自信に満ちている。面倒見がよく、仲間思いで、常にメンバーに気を配っている。メンバーが困るといつも彼が救う。喘息を患っていて、曲が速すぎる時や振付が激し過ぎる時に発作を起こす。

川平 慈英  
Jay Kabira

## ジンクス JINX

シャイ。生まれてこのかたずっと怯えながら生きてきた。歌や動きをいつも覚えていられない。けれど彼の素直な生き方はメンバーに深く愛されている。スパークの異母兄弟。二人の間にはかすかなライバル心が働いている。高い声で歌うと鼻血がでることも。

長野 博  
Hiroshi Nagano

## スパーク SPARKY

いたずらっ子。頭の切れる「お笑い担当」。いつもギャグを言うチャンスを狙っていて、パフォーマンスするのも大好きである。異母兄弟のジンクスのことを常に気に掛けている。落ち着かない話し方で、若干不自然な感じがある。

松岡 充  
Mitsuru Matsuoka

## スマッジ SMUDGE

心配性。慢性神経性胃痛を抱えている。スマッジと呼ばれるのは、左利きのため、ものを書くたびにページをインクで汚してしまったからである。「あの時こうしていたら…」症候群を患っている。偶然彼の眼鏡が取れてしまうと、素顔は実にカッコイイ。

鈴木 壮麻  
Souma Suzuki

話題のミュージカルが香川に上陸します。川平慈英、長野博、松岡充、鈴木壮麻が扮するサウンドグループ「フォーエヴァー ブラッド」(以下グループ名はブラッド)。一度死んだ彼らが蘇った場所は、なんとサンポートホール高松!? 抜群に美しいハーモニーと楽しくやんちゃな会話、ちょっぴり可笑しい振付と、4人の音楽への情熱が生き生きとぎやかに描かれた心温まるミュージカルです。

## What's ブロードウェイ?

ミュージカルの代名詞にもなっている「ブロードウェイ」。そもそも、ニューヨーク州マンハッタンを縦断する20km以上の大通りの名前です。なかでも、タイムズスクエア周辺は約40の劇場が軒を連ね、その多くが毎夜ミュージカルを上演していることから、ブロードウェイというその劇場街またはミュージカルを指すことが多いのです。年単位でロングランされている人気作と、毎年発表される新作が競演し、ブロードウェイ・ミュージカルはミュージカルの本場として名を馳せています。

それでは、オフ・ブロードウェイとは何でしょう? こちらはマンハッタンにある500席未満の小さな劇場で上演される作品のことです。地図上では同じブロードウェイにあっても、規模が小さいとオフ・ブロードウェイとなります。ミュージカル以外にもショーや一人芝居など、様々なジャンルがあります。資金のかかるブロードウェイに比べ小規模なため、若手の脚本家や俳優を起用する実験的なものが多いのが特徴です。ここで人気を得たミュージカルがブロードウェイに進出することもあり、ブロードウェイへの修業の場ともなっています。

本作「フォーエヴァー ブラッド」は、1990年にオフ・ブロードウェイの小劇場スティヴ・マッグロウズ(現在はステージ72)で開幕し、94年まで1,811回のロングランを記録したヒット作です。その後アメリカ国内で上演を重ね、92年、99年、01年にツアー・カンパニーが来日公演。13年に

日本人キャストで初の翻訳上演。そして今年、日本初演のゴールデンメンバーが再び集結し、3年ぶりの再演となります。

## 豪華出演陣

ブラッドのリーダー フランシスを演じる川平慈英。ミュージカルを軸に、テレビCMやサッカー番組の解説などでもお茶の間を楽ませています。昨年春の舞台「趣味の部屋」で一足先にサンポートホール高松の舞台に立ち、夏にはドラマ「表参道高校合唱部」で小島屋でうどん屋を営む主人公の父親を演じるなど、香川との縁が続いています。

気弱な弟分 ジンクスを演じるのは長野博。V6がデビュー20周年を迎え、24時間テレビのメインパーソナリティーを務めるなど、昨年は特にめざましい活躍をみせました。初演時に共演者から「ボメラニアンみたいで可愛い」と絶賛された長野。本人の持つ可愛らしさと、役柄の愛らしさがベストマッチしています。

お調子者のスパークを演じるのは松岡充。ロックバンドSOPHIA、MICHAELのヴォーカルとして活動するほか、俳優としてもキャリアを重ね、ブロードウェイ作品も5作品に主演しています。その功績が買われ、昨年はオフ・ブロードウェイ・ミュージカル「TRIP OF LOVE」のプレミアに招待され、レッドカーペットを歩きました。

真面目なスマッジを演じる鈴木壮麻。劇団四季時代の「美女と野獣」のビースト役や、「レ・ミゼラブル」のジャバール役が有名で、甘く響く低音でファンを魅了しています。歌唱でかかる喉の負担をオリーブオイルでケアしていて、喉に1滴ずつ垂らしながら飲んでいるそうです。鈴木から勧められた松岡もステージドリンクとして愛飲中だとか。

演奏を担当するのはEverlyの松尾賢之、松尾悟郎、小向恩。たくさんのお客さんを使い、たった3人で演奏しているとは思えないほど豊かに楽曲を彩ります。演出には、「キササギ」「グローリー・デイズ」など、コメディからミュージカルまで幅広く

手掛ける板垣恭一を迎えます。

そして忘れてならないのは、来場したお客様の存在です。ブラッド復活の場に居合わせた一人として、なんとシナリオに組み込まれているのです。「フォーエヴァー ブラッド」はコメディ・ミュージカル。たくさん笑って参加して、一夜限りの特別なショーをお楽しみください。

## 物語を彩る魅惑の旋律

このミュージカルは、歌とMCのコンサート形式で進行します。劇中で歌われる約30曲の殆どは、1950年代アメリカでヒットしたポップスです。60歳以上の方はどんびしゃで懐かしく、逆に若い世代では初めて聴く曲が多いと思います。

「フォーエヴァー ブラッド」は、当時アメリカを一世風靡した4人編成の男性コーラス・グループの熱烈なオマージュです。その代表格がフォー・エイセスとフォー・ラズ。彼らのナンバーも劇中で歌われます。旋律は甘く歌詞はシンプル。絶妙なハーモニーを奏でる男性コーラスの魅力は堪能できます。また、この時代はロックが誕生し、テレビが普及してラジオに変わるメディアに成長した時代でもありました。若者向けの最新の音楽としてビートルズを紹介したり、テレビ史に残るバラエティ番組「ベリリー・コモ・ショー」「エド・サリヴァン・ショー」で歌われた楽曲をトリビュートする一幕もあります。そして、すべての曲にブラッドのメンバーの思い出があり、彼らと共に当時の空気感に浸ることができます。

耳に自然と馴染む心地の良いナンバーも、実は、歌い手としては七転八倒するほど難解な曲ばかり。この作品の楽曲は、現在の音楽理論が確立される前に書かれており、今ではタブーとされているような和音のあて方がされています。わざと不協和音を作っている部分もあるそうです。まるで薄氷の上を歩いているような繊細なハーモニー。しかし、4人の歌声がピタリと揃い響いたとき、会場全体がハーモニーに包まれます。一緒に高揚していくこの感覚を、ぜひ体感してください。

## 楽曲紹介

あふれる思い出 / Moments To Remember  
1956年、ビルボードトップ5を記録したフォー・ラズによる名曲。  
シング・トゥ・ミー、ミスターC / Sing to me Mr.C  
「ベリリー・コモ・ショー」のリクエスト・コーナーのテーマ曲。  
流れ星をポケットに / Catch A Falling Star  
ベリリー・コモによる1958年のヒット曲。  
マチルダ / Matilda  
ジャマイカの陽気なリズム感溢れるハリー・ペラフォンテのヒット曲。  
愛こそすべて / Loves is a Many Splendored Thing  
1955年、フォー・エイセスの歌でビルボードNo.1ヒット。映画「慕情」でアカデミー賞主題歌賞に輝く。

## 出演者にウェルカムメッセージを送ろう!

公演当日楽屋入口に飾り付けて、出演者をお出迎えするメッセージを募集しています。どなたでもご参加いただけます!心のホットと温まるメッセージをお待ちしています。

受付場所 サンポートホール高松 1階 総合案内所 横  
サンポートホール高松 2階 管理事務室

フェイスブック <https://www.facebook.com/events/174145746295236/>

# こどもの日の こどものための コンサート

対象年齢  
**0才~**

日時: 2016年5月5日(木・祝) 14:00開演(13:30開場)  
会場: 第2小ホール 入場無料 **全席自由**

※16:00終演予定(休憩あり) ※ベビーカー置場、授乳室、おむつ交換台があります。 ※満席の場合は入場をお断りすることがあります。(座席数300席)

## 日本の歌をたくさん演奏するこのコンサートは、なんと、今年で10回目!

親子で音楽を楽しみたい家族にピッタリのイベントで、毎年たくさんの方が来ているよ。  
間近で生の演奏を聴いたり、一緒に歌えるコーナーもあって、内容は盛りだくさん。  
うっとり聴き入ったり、からだ動き出しちゃったり、からだじゅうで感じて楽しめるよ♪  
小さなお子さんも、お父さんお母さんも、おじいちゃんおばあちゃんも、みんな一緒に来てね!  
子どもが泣いてしまったら、ロビーでゆっくりしてね。  
さあ、ステージはどんな様子かな? もしかすると  
お友達が「家族みんなで歌合戦」に出ているかもしれないよ。  
5月5日は、キミも賑やかなコンサートに来てみよう。



## 家族みんなで歌合戦

公募で集まったファミリーが息の合った歌声を披露。  
お歌が好きな家族がたくさん集まったよ。家族それぞれの個性がキラリ。  
息の合った歌声が素敵だよ。みんなで歌合戦を盛り上げよう!



## 会場いっぱいみんなで歌おう

アンサンブルの生演奏にのせて、美しい日本の歌を歌おう。  
色々な音色が聴こえてくるよ。  
フィナーレは、みんな一緒にステージに立って歌ってみよう!

**曲目**

1. 浜千鳥	2. 浜辺の歌	3. 春が来た
4. 春の小川	5. ふじの山	6. 冬景色
7. 冬の星座	8. 故郷	9. 蛍の光

**出演者**

ヴァイオリン: 和田 絵里子	クラリネット: 山崎 盾之
チェロ: 荒木 誠一	ソプラノ: 石井 真紀
コントラバス: 佐柄 佳奈	ピアノ: 中村 久美子
フルート: 都村 慶子	コーラス: コール・ジュニア高松



大きなお口を開けて  
こいのぼりが待っているよ

# 「演劇どっとこむ」的 演劇を楽しむ

ステップ  
**3STEP**

サンポートホール高松は、2012年から四国学院大学と協働してワークショップ「演劇どっとこむ」を開催しています。演劇界の第一線で活躍する講師と共に、演劇に親しむ貴重な機会です。  
音楽ならバンドを結成しライブをするように、ダンスならチームを作りステージで踊るように、気の合う仲間と趣味に打ち込むのはよくある風景ですが、演劇ではあまり見かけられません。演劇も自分たちでグループを作って創作活動をするのが当たり前になるような、そんな身近な存在になれば、そこで、簡単ではありますが「演劇どっとこむ」的な演劇の楽しみ方をご紹介します。

## STEP 1

### ワークショップに参加してみよう

ワークショップは一方向的に教わるのではなく、参加者同士と一緒に何かをする、何かつくることで、新しい発見をする場です。演技やダンス、戯曲などたくさんの種類があります。サンポートホール高松でも、この夏中高生向けに演劇ワークショップを開催。俳優に興味がある、演じてみたい、スキルを身につけたい、けどどうしていいかわからない! とお困りの方は、まずは「演劇どっとこむ」で演劇の楽しさに触れてみてください。

四国学院大学協働事業  
**「演劇どっとこむ」**  
8月17日(水)~21日(日)  
サンポートホール高松 第1リハーサル室  
対象/中学生・高校生(20名)  
参加費/5,000円  
7月10日(日)受付開始(先着順)  
詳細は、6月頃にホームページに掲載します。

**Message**  
講師/ **館そらみ** (脚本家・演出家・役者)  
演劇に必死になると、いつも少しだけ仲間のことが好きになり、自分のことも好きになり、生きるのが楽しくなります。演劇はそんな効果を持っています。夏まっただなか、初めて出会った仲間たちと必死になる5日間は、きっとあなたにとって大きなことになる。迷ってる? その一歩を踏み出してみよう! ここでしか体験できない5日間を。忘れられない夏にしよう。経験なんて何も要りません。1人だって大丈夫です。



## STEP 2

### 四国学院大学を知ろう

四国学院大学は、四国にいながら最先端の演劇やダンスに触れ学ぶことができる、本格的な演劇コースを持った大学です。併設するノーススタジオでは、プロ劇団の公演や、学生がスタッフ・キャストを務める公演が観られるほか、稽古場の公開なども行っています。9月まで毎月開催しているオープンキャンパスでも、演劇体験ワークショップに参加できます。気軽に足を運んでみてください。



## STEP 3

### 仲間をつかって練習しよう

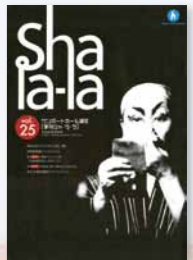
たくさん学んで、次は自分たちで創りたい! サンポートホール高松には、防音設備もばっちりな練習室やリハーサル室があります。ぜひご活用ください。

	面積	利用料* (税込)
第1リハーサル室	300㎡	2,670円
第2リハーサル室	94㎡	1,020円
第3リハーサル室	148㎡	1,540円
第1練習室	70㎡	610円
第2練習室	52㎡	410円
第3~6練習室	16~17㎡	200円

※1時間ごとの利用料(9:00~23:00)



サンポートホール高松 管理事務室には、県内外のワークショップ参加募集のチラシも置いてありますので情報収集にお役立てください。練習室・リハーサル室の利用についてもご相談ください。



通刊50号 記念企画

# Sha-la-la Library

2004年、サンポートホール高松の開館とともに、ホールのお届けしてきたサンポートホール通信[季刊 シャ・ラ・ラ]。開館以来、季節に合わせて年4回発行しています。そのサンポートホール通信が今回で記念すべき50号を迎えました。そこで、これまでの表紙をたどりながら、ホールのお歩みを振り返ってみたいと思います。

**A 創刊号 (2004年3月1日)**  
ホールオープン直前の創刊号。ホールの写真掲載し、みなさんにホール内のお披露目となった。

**B vol.11 (2006年7月25日)**  
「Sha-la-la」という愛称がついたリニューアル記念号。名付け親は当時の舞台技術スタッフの一人。Sunport-hall-artの頭文字を組み合わせ、サンポートに吹く穏やかな風をイメージし、そよ風のように多くの方のみなさんのもとへ楽しさを届けたいという想いを込めた。

**C vol.21 (2009年1月10日)**  
表紙を飾ったのは、高松国際ピアノコンクール第1回優勝者バウエル・ギントフ氏。このピアノコンクールは2006年3月に第1回が開催され、2018年3月には第4回が開催される。夢と感動あふれる国際コンクールとして、才能ある若い音楽家の発掘につなげ、世界的に話題を提供する音楽イベントとして香川県・高松市を国内外にアピールしている。

**D vol.35 (2012年7月10日)**  
この号から、表紙のデザインを1年ごとにテーマを決めて作成するように。2012年は、開催する公演の内容をシンボルマークのようにデザインしてレイアウト。

**E vol.42 (2014年4月10日)～vol.45 (2015年1月10日)**  
2014年、開館10周年を迎える。この記念すべき年は、表紙にちょっとした遊び心を仕掛けた。4冊を並べると、サンポートをはじめ県内の風景とともにメッセージが現れる。

**F vol.50 (2016年4月10日)**  
いかがでしたか？サンポートホール高松を彩る様々な公演とお客様との懸け橋となる、サンポートホール通信[季刊 シャ・ラ・ラ]。これからも楽しさや感動、そして新たな発見をお届けします。

